

# 鷹栖町 議会 報告会

第2回

平成21年  
8月23日(日)~26日(水)  
28日(金)開催

開かれた議会  
を  
目指し

質疑応答「議会に対して」

質疑応答「議会に対して」

議会報について

議会報に書いてあることは字一句、議会での発言なのか、あるいは要約しているのか、一議会報特別委員会の委員が

議員報酬は月額のほか賞与・費用弁償はいくらか支給されているのか。また、旅行に日当がでているのは納得できない。  
 一賞与は年4・5カ月分、今年度は0・35カ月分減額する予定。費用弁償は平成17年度からは支給していない。日当は食事代など、旅行にかかる諸経費と考える。

議会全般について

鷹栖町は基幹産業が農業であるのに、議会報に掲載されていないが、農業についての議論をしていないのではないのか。  
 一委員会や議会の審議の中では、農業関係議案についても活発な議論をしている。  
 一般質問は事前に質問書を出して答えをもらうのか。あるいは

「みんなの議会」は大変分かりやすく、細かいところまで気を遣って作っているのがよく分かった。重宝している。  
 一全道議会報研修会などで勉強し、今後もしっかりしやすい議会報を発行していきます。

要約している。  
 一般質問の不適切発言は、ほかに影響を与える場合があるので、校正段階で配慮するべきではないか。  
 一議場の発言は、個々の責任であり、できる限りそのままと掲載している。

資料の「議会の概要」の中で、旅費規程の説明中「旅行」という言葉はいかがなものか。  
 一旅費規程の用語で「旅行」となっている。(広義では、交通手段を用いて移動する行為)  
 一昨年より減少している。今後、時期や内容について十分に検討していきたい。  
 議会報告会の取り組みは大変良いことで、素晴らしいと思う。今後とも継続するように考えている。

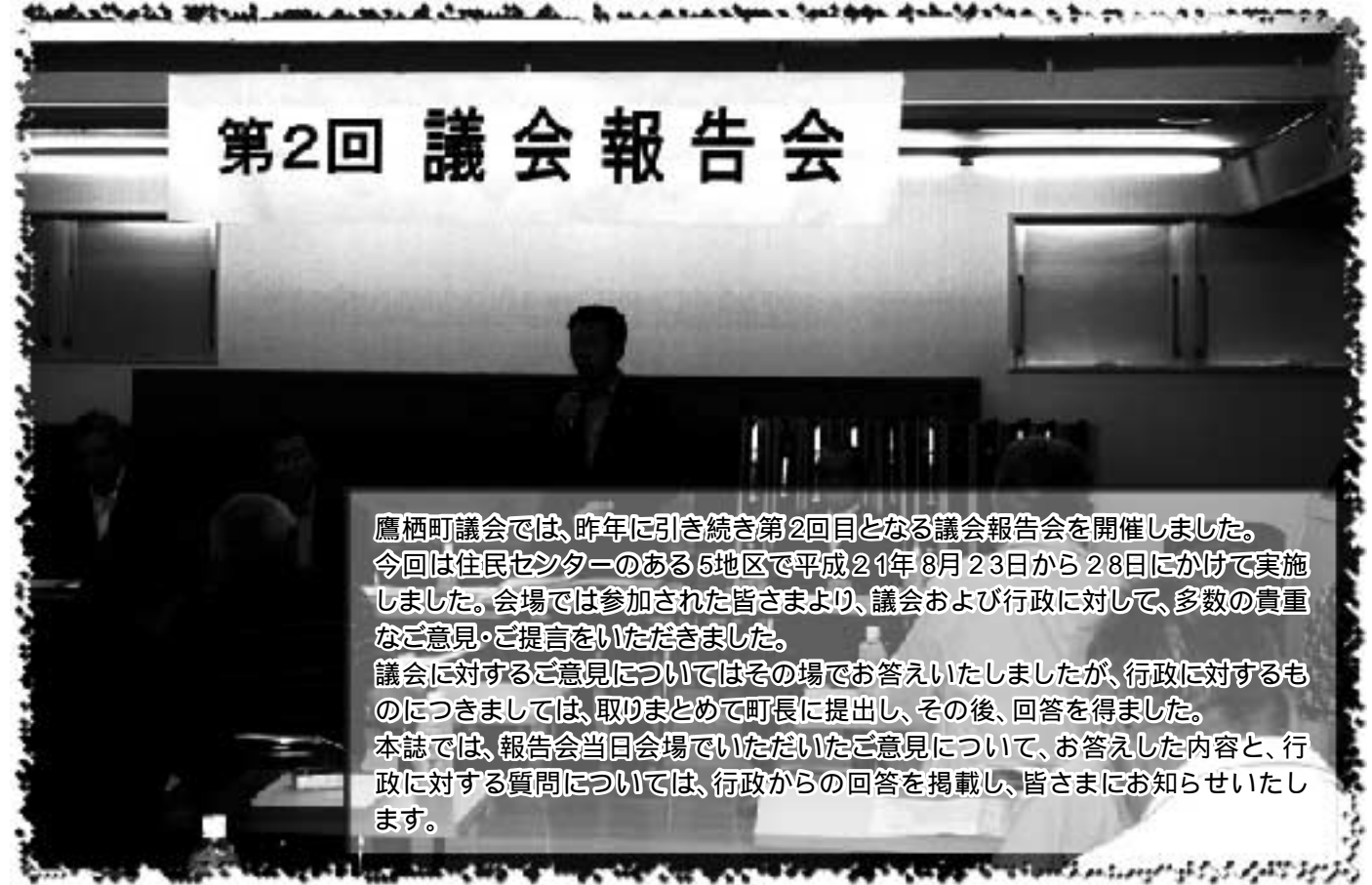
鷹栖町も日曜議会を行えば、傍聴者が少しは増えるのではないのか。また、傍聴者に対する議案などの資料は。  
 一「日曜議会・夜間議会・子ども議会」やインターネット中継など、さまざまな方法を検討している。議案書は閲覧用を数部用意している。

は「問」答なのか。また、自由闊達(かつたつ)な議論ができる議会なのか。  
 一「問」答は当日受ける。一問一答方式ではない。会議規則の中で質疑は3回までとなっているが、自由に議論を行っている。

一定数減により一人の仕事量は増えている。管内他町村との比較では、報酬額は中間で、定数は同じ人口規模の町とほぼ同数である。  
 議員報酬の基準はあるのか。また、報酬を減額する考えはないのか。  
 一特に基準はない。議会独自に検討協議し、今年度は現状維持とした。  
 いろいろな団体で研修を自粛する方向にあるが、議会の考え方は。  
 一目的が明確に必要な研修は実施するべきと考えている。

9月定例議会は農繁期の忙しい時期と重なり傍聴ができない。また、傍聴者は何人いるのか。  
 一管内でも早い時期に開催している。傍聴者は定例会で、年平均14人である。  
 パレットヒルズの開発そのものは問題ないが、パークゴルフ場を造るといった段階で、議会ですべて話しかけられたのか。  
 一侃侃諤諤(かんかんがくがく)と話し合いを行い、最終的には造るという決定となった。今後、あの施設をどうするか議論しなければならぬと考える。

必要と考えている。  
 議会傍聴促進の目的で議場コソネットを行っているが、その効果は。  
 一まず、議場に来ていただくことが目的であり、今後ともいろいろと工夫していきたい。



鷹栖町議会では、昨年に引き続き第2回目となる議会報告会を開催しました。今回は住民センターのある5地区で平成21年8月23日から28日にかけて実施しました。会場では参加された皆さまより、議会および行政に対して、多数の貴重なご意見・ご提言をいただきました。議会に対するご意見についてはその場で答えたいと思いましたが、行政に対するものにつきましては、取りまとめて町長に提出し、その後、回答を得ました。本誌では、報告会当日会場でいただいたご意見について、お答えした内容と、行政に対する質問については、行政からの回答を掲載し、皆さまにお知らせいたします。

報告会について

報酬・旅費について  
 定数が減ると議員の活動範囲が広くなると思うが、議員報酬と定数の関連をどのように考えているのか。また、報酬額や定数を他町村と比較した場合、鷹栖町はどの位置になるのか。



質疑応答「行政に対して」

行政全般について

【総務課】

町長は立候補をしたときに、報酬を減額すると言っていたがどのように考えているのか。また、このくらいにするのか。

- 一 報酬等審議会で町長の給与額の適否について審議していただいているので、答申後、給与等の額を判断する考えです。



町有財産は有効に活用しているのか。遊休財産は精査して、不要なものは処分すべきではないか。

- 一 遊休化している行政財産の利用方法は現在検討中である。

り、早い時期に結論を出したい。普通財産については、処分も含め利用計画を定めたいと考えている。

AEDが設置されているが、設置場所が町民に分かるような方法を考えてほしい。

- 一 図面化するなど設置場所が分かるように「広報たかす」等を利用し対応していく。

【企画課】

北斗小学校跡利用の考え方。情報はいいの。

- 一 鷹栖共生会で利用の希望があると確認をしている。今後は、具体的な利用計画書を提出いただき、行政内部で課題整理等の検討を行い、地域への説明や意見を聞き、結論を出したいと考えている。

クロス10のからくり時計が動いていないが、動かさないのか。

- 一 プラザクロス10の交通広場は、北海道の施設のため手

がつけられない状況になっているが、町として施設の更新や改修などを引き続き要望していく。

北成地区では農業後継者が法人化して努力している。インターネットでの販売なども考えたいが、回線が繋がっていないためできない。

- 一 情報過疎地解消のため、事業者と現地調査及び協議を行っている。補助金活用や事業者のエリア拡大要請も視野に入れ、インターネット環境を整備できるように検討を進める。

【税務課】

固定資産税について、建物の調査は毎年町内全体を見て回っているのか。

- 一 毎年、航空写真を基に家屋調査を行っている。前年と比較して変化があるものについては、併せて現地調査を実施している。

【町民課】

鷹栖町ではゴミ袋に名前を書いて出しているが、ほかの町でゴミステーションにコンテナを置いて資源ゴミを出せるようにしている。鷹栖町でもできないか。

- 一 現在の方法は、収集に係る時間や異物混入への対応及び不適正排出者への指導等を総合的に考慮し、最適な方法と考えている。(ご指摘の方法では、異物の混入を防ぐことが困難で、ごみステーションを管理する地域の皆さまに、より一層のご負担をおかけすることになります)

【農政課】

廃屋がキツネの巣になり被害が増えているが、廃屋処理に行政指導ができないのか。

- 一 廃屋は地主が町内にいない。所有者が不明などの場合が多く、処理に苦慮しているが、北斗地区で行ったケース

をモデルとしながら地域と相談していきたい。

農業推進会議北斗支部の助成を受け、廃屋の処理を行った。

エゾシカ・アライグマ・キツネ・カラスの被害が増えているが、何か有効な手段はないのか。

- 一 エゾシカは、冬場に猟友会による一斉駆除を行っている。アライグマキツネは、町で箱罠の貸し出しを行っており、今後有効な手段が出てきた時には、新たな対応で取り組んでいく。

鷹栖町の2農協がそれぞれ合併して広域になったことにより、助成等がしにくくなったと思うが、どのように考えているのか。

- 一 合併により、農政関係事業についても旭川市との協議が必要な場面もあるが、助成内容等を含め連携を密にして取り組むようにしている。

農業者の高齢化等で水田の賃賃が増えているが、借り手が少

なく牧草地などの転作や捨て作りの水田も増えているのではないか。

- 一 推進会議による賃貸料の助成など、農地流動化を進め優良農地を守る対策を実施している。

水田近くに松を植林しているが、将来的に日陰などの影響が懸念されるがどうなのか。

- 一 町が所有者の植林計画に規制を掛けることはできないので、水田への影響も考えた計画を検討していただくように要請していきたい。

山林の伐採によって、沢地帯への雨水量が多くなり被害が出ないか心配である。山林伐採の制限を条例で定められないか。

- 一 伐採時には山林伐採計画の届出が必要で、伐採後は植樹をすることになっている。現状では伐採の制限を条例化することは個人財産の問題もあり難しいと考えるが、伐採者に雨水での被害が出ないように注意を呼びかけている。

【建設水道課】

市街地の歩道と車道の段差がありすぎる。また、歩道部が傷んでいる箇所がある事と、街路樹は除雪の邪魔になる。

- 一 歩車道の境界部の段差は、歩道と車道を識別し、街路樹は歩行者を守る意味もあり、交通安全上重要な役割を果たしている。

第7次総合振興計画で、歩道の段差等を含め道路事業全体を検討していく。

青サギが増えて被害があるようだが、オサラッペ川の柳等が青サギの営巣地となっているのではないか。

- 一 実態調査を実施していない。国の事業で一部雑木(外来種)の伐採を予定している。詳細については把握していない。

北成地区は、上下水道が完備していないし、また道路も砂利道が多く不便であり、せめて道路整備を進めてほしい。

- 一 現在、交通安全対策や改修

費用を抑えるための道路修繕などを中心に事業を進めている。道路の舗装化は、道路事業全体で検討していく。

【生涯学習課】

丸山句碑の森は、人が入れる状態ではないので整備してほしい。

- 一 大きな修繕は終了したので、今後は、遊歩道などの整備を協議しながら進める。



丸山パークゴルフ場の集客数が落ち込んでいるが、町ではどのように受け止めているのか。

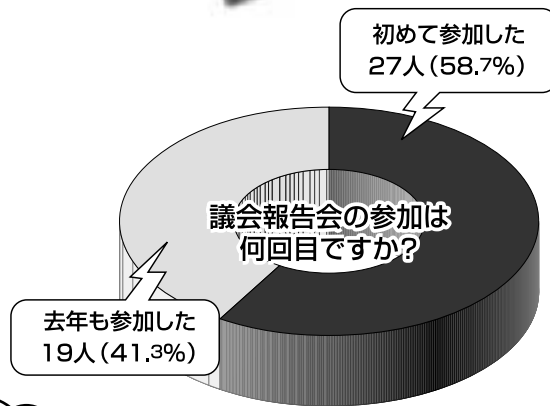
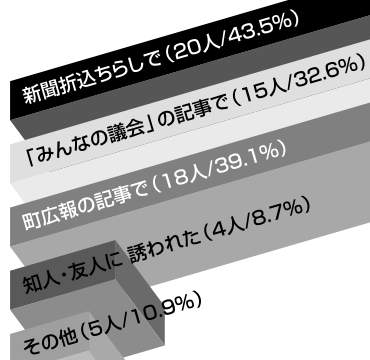
- 一 今年度は天候不順により前年より若干減少したが、イベントと地場産業などを組み合わせた取り組みを継続していく。

質疑応答「行政に対して」

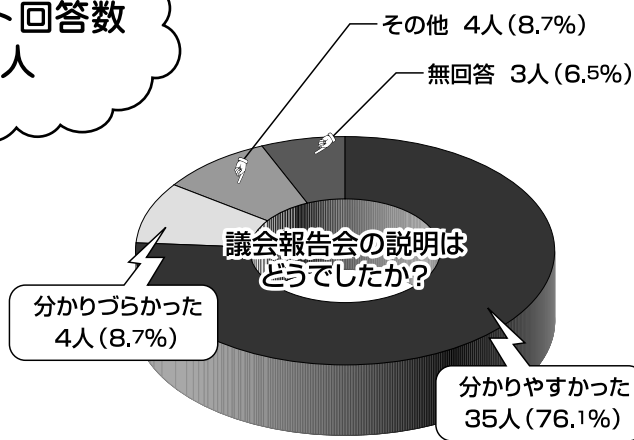
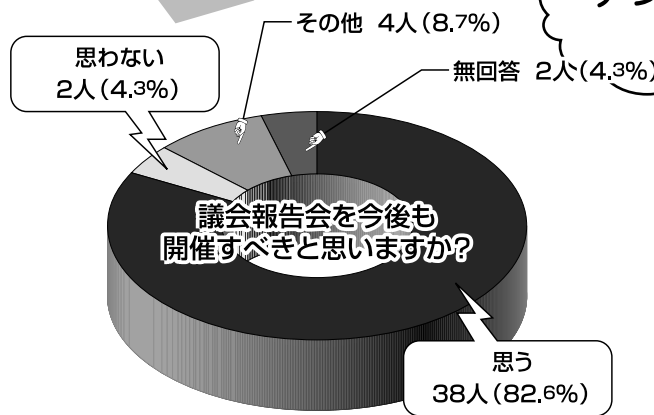
質疑応答「アンケート調査でのご意見」



議会報告会を何で知りましたか？  
(複数回答あり)



アンケート回答数  
46人



質疑応答「行政に対して」

**問** 各住民センターに防災時の発電機を置いているが、メンテナンスはどこが責任を持って実施しているのか。

— 保管は各地区住民センターだが、メンテナンスは防災担当(総務課)の所管である。今後は定期的に点検を実施する。

パレットヒルズについて

**問** パレットヒルズのパークゴルフ場は町民にPRをして、利用する方向で進めるべきではないか。また、今後、電気・水道設備等についての経費がかかるのか。

— 管理運営を希望する団体・企業等を公募し、パークゴルフ場の手入れは行っているのか。



**問** トイレ、電気、水道等が無いのでは観光地にならない。先に整備をすべきではなかったのか。

— 今後、パレットヒルズ全体の整備構想、施設整備計画を明らかにした上で、町の財政状況を考慮しながら、できる範囲での整備を考えている。

**問** 歩くスキーコースの真ん中に桜が植えられ、コースがよく変更になるが、行政内の連携はとれているのか。

— ゴルフ場を含め民有地を使用しているため、今後も変更は有り得ます。関係者間と連携を進めていく。

農業振興公社について

**問** 農業振興公社と行政・議会の関わりはどのようになっているのか。

— 農業振興公社は町、両農協出資の第三セクターで、取締役として町長、副町長、議長、経済福祉常任委員長が就き、公社経営を担っている。

**問** トマトの栽培を定年後の働く場としては。

— 労働力が不足しているトマト栽培農家にもメリットがあると考ええる。



**問** 町が、農業振興公社の株を49%所持と50%所持するのではどう違うのか。

— 町が社長株(1株)を購入して出資割合が50%になったので、公社の予算・決算などの経営状況を議会に報告する義務が生じる。





第1日目 8月23日  
北野地区住民センター

各会場  
出席者数  
合計63名

第5日目 8月28日  
北成地区住民センター

第2日目 8月24日  
中央地区住民センター

第4日目 8月26日  
鷹栖地区住民センター

第3日目 8月25日  
北斗地区住民センター

### 御礼のご挨拶

この度、鷹栖町議会における議会改革・議会活性化の取り組みの一環として、第2回目の議会報告会を開催したところ、町民の皆様にはご多忙にもかかわらず、多数のご参加を賜り心より御礼申し上げます。

更には、数々の貴重なご意見・ご提言・ご要望を頂きありがとうございました。議会として、将来のまちづくりに向けての発展ある議論を行うために役立ててまいります。

また、当日各会場でのアンケート調査においても、議会及び行政に対して貴重なご意見を頂きました。内容の掲載はしておりませんが、皆様のご協力で深く感謝いたします。

今後も、議会の機能向上・情報提供をはじめ、より開かれた信頼される議会を目指して、議会改革に取り組んでまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。御礼のご挨拶と致します。

鷹栖町議会議長 青野 敏